

日本学術振興会特別研究員は、日本を代表する若手研究者養成制度であり、毎年2,000名前後が採用され、本学からも40名を超える申請があります。

研究支援・社会連携グループでは募集時期以外にも年間を通して申請書点検など様々な申請支援を行っています。

募集開始以降は非常に混み合いますので、2026年度の申請を検討されている方は、今から申請書作成に取り掛かり、適宜、指導教員にご相談いただくようお願いいたします。

2026年度採用分の様式（申請書内容ファイル）は学振HPIに公開されています。

http://www.jspso.go.jp/j-pd/pd_sin.html



大学院生の皆さん！申請書の作成はスタートダッシュ！が大事です

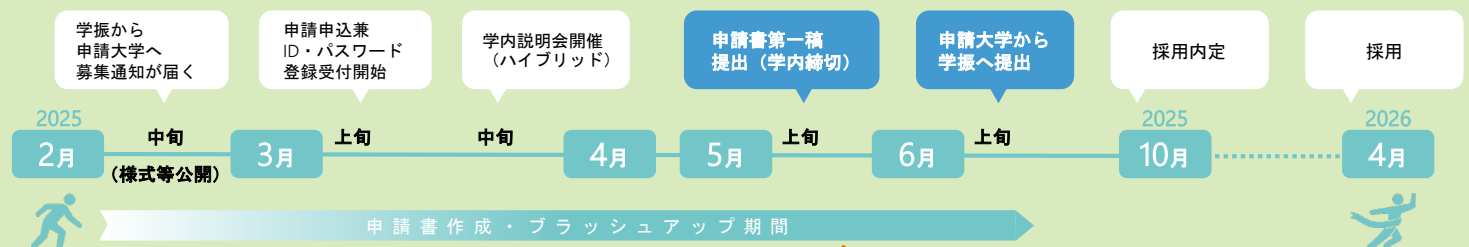
1. 申請対象者

- 申請区分は大きく分けて3区分（DC1、DC2、PD）があり、主な要件は以下の通りです。
※RPDへの申請については、研究支援・社会連携グループまでお問い合わせください。
- 休学期間がある場合は、必ず募集要項を熟読し申請区分を確認してください。

2025.4.1現在の資格	申請区分	備考
博士課程前期課程 標準年限を超えて在籍する者 修了者	DC1	<ul style="list-style-type: none"> ● 採用時（2026.4.1現在）に博士課程後期課程に進学している者 ● 採用期間：3年 月額：20万円（36ヶ月×20万円＝720万円）
博士課程後期課程 標準年限を超えて在籍する者	DC2	<ul style="list-style-type: none"> ● 採用期間：2年 月額：20万円（24ヶ月×20万円＝480万円）
博士課程後期課程 標準年限を超えて在籍する者 博士学位取得者	PD	<ul style="list-style-type: none"> ● 採用時（2026.4.1現在）に博士の学位を取得している者 ● 採用期間：3年 月額：36.2万円（36ヶ月×36.2万円＝1303.2万円）

さらに
科研費（毎年150万以内）を交付

2. スケジュール



⚠ 非常にタイトなスケジュールですので **今すぐ** ご準備をお願いします！

学内窓口 研究支援・社会連携グループでは様々な支援を行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

研究支援・社会連携グループ
（内線 3211・3097）
新関西大学会館南棟 2階

URA・ライティングアドバイザーによる支援

採択者の申請書も閲覧可能

随時相談可能